



初夏のコンサートで歌うcoccolare

### 初夏のコンサート 老人クラブ連合会が初開催

狛江市老人クラブ連合会が6月29日(日)に西河原公民館で「初夏のコンサート～魅惑のうたごえ～」を催した。

女声アンサンブルcoccolareの向川原美智子さんらメンバー7人が松場知子さんのピアノ伴奏に合わせて「ショーほど素敵な商売はない」「花の二重唱」「われは海の子」「川の流れるように」など20曲を世界歌めぐり、夏の童謡メロデー、懐かしの青春歌謡の3部構成で披露した。訪れた高齢者たちはなじみ深い曲に静かに耳を傾けたり、「夏の思い出」を一緒に歌って楽しんでいった。

このコンサートは、老人クラブの友愛活動を行っている会員が美しい歌声で暑さを忘れ、交流するきっかけになればと初の試みとして女性部が企画した。連合会の三宅豊会長は「たくさんの人に喜んでもらえて良かった。音楽の街・狛江にふさわしいイベントとして続けていきたい」と話していた。

### 狛江特産の初夏の味 えだまめ祭りに行列

狛江市役所前市民ひろばで7月



人気の枝豆を販売

3日(日)と4日(月)に「えだまめ祭り」が開かれ、狛江の初夏の旬の味を求める人でにぎわった。

狛江市都市農政推進協議会が、狛江の特産品・枝豆を多くの市民に味わってもらおうと毎年この時期に催している。両日とも枝豆約600袋と市内産のタマネギとじゃがいものほか、枝豆アイスを販売した。通常より安いこともあり、会場には午前9時の販売開始前から長い列ができた。両日とも約30分ほどで売り切れた。

協議会では「市内の農業に関心を持ってもらい、地産地消を進めたい」と話していた。

### 農業体験の親子を募集 ダイコン・ハクサイ栽培

JAマインズが農業体験「親子でアグリ」の参加者を募集している。都市農業への理解と食農教育を目的に催しているもので、猪方3丁目の畑でダイコンとハクサイを栽培して収穫する。

日程は9月9日(日)播種・植付け・施肥・畝づくり、10月14日(日)除草作業・間引き・追肥など、11月25日(日)収穫・片付けの3回(天候などで変更の可能性あり)で、いずれも午前中。初回は午前9時にJAマインズ狛江支店に集合。参加費は1世帯1,000円(傷害保険代、種子・肥料代など)。対象は狛江市内の幼児・児童とその保護者で定員10組程度(応募多数の場合抽選)。

希望者は8月14日(日)までに電話・ファックスで下記へ申し込む。

申し込み・問い合わせ ☎ 3488-3435 FAX 3488-2830 JAマインズ狛江支店 経済指導部門。



創部45周年記念交流大会で熱戦を繰り広げる狛江セブン(手前)

### 狛江セブンが創部45周年 記念の大会で12チーム熱戦

小学生のバレーボールチーム「狛江セブン」が創部45周年を迎え、記念の交流大会が7月9日(日)に市民総合体育館等で催された。

大会には、狛江セブンに加え交流を行っている調布市、府中市、町田市、世田谷区、新宿区、豊島区、千葉県四街道市、神奈川県足柄上郡開成町から合わせて12チームが参加、熱戦を繰り広げた。試合は府口(府中市)が優勝、新宿柏木クラブ(女子・新宿区)が準優勝を飾った。

狛江セブンは昭和53年に狛江第七小学校でスタート、現在は緑野小学校を中心に「元気!感動!思いやり!」をモットーに活動している。当初は女子だけだったが、数年前から男子も入部、混合チームとして試合に参加している。これまで都大会に15年連続出場を継続中で、都大会優勝2回。準優勝2回の成績を残している。岩崎(旧姓・富永)こよみさん、菊池杏菜さんの2人のVリーガーを出している。

広瀬雅一監督をはじめチーム関係者は「多くの人のお陰で45年間続けられました。これからも子どもたちが目標に向かって努力することで心も体も成長していくことを最大の目的、喜びとして、地域に貢献して続けられるようがんばります」と思いを新たにしていた。

### Shop & Service Guide ...26

## 泉の森会館



泉の森会館は、「地域社会の文化的活動の拠点とコミュニティの場を作ろう」と泉龍寺世話人総会が狛江弁財天池特別緑地保全地区の緑を臨む同寺の所有地に建設を決め、平成15年に開館した。今年8月に20周年を迎え、様々な記念イベントが催される。

1階に飲食店、2階にギャラリー、小会議室、カフェ、3階に多目的ホールがあり、運営は有限会社泉の森(新井七吾代表取締役)が担当、元木藤江館長ら美術や演劇などの知識を備えた女性スタッフ12人が自主企画・運営や利用者のサポートなどにあたっている。

ギャラリーは約27㎡と25㎡の2室あり、ダウンライト、スポットライトを備え、部屋を区切る可動式展示壁を移動して1室として使用できる。約12㎡の小会議室は

## 20周年迎えた文化的活動の拠点 ギャラリーやホールなど充実



入場者でにぎわうギャラリーと元木館長(左から2人目)、スタッフの平岡タマコさん(左端)

☎5497-5444 元和泉1-8-12、開館時間=午前9時～午後10時(受付は午前10時～午後5時、カフェは午前11時30分～午後5時)、休館5月3～5日・8月13～15日・年末年始

### 市役所に「泳ぐ芸術品」 長岡市から友好の錦鯉

狛江市役所2階ロビーに置かれた水槽で「泳ぐ芸術品」と呼ばれる色鮮やかな錦鯉が元気に泳ぎ、訪れた人たちに涼感と癒やしを与えている。

ふるさと友好都市の新潟県長岡市から友好の証として贈られたもので、6月22日(日)に松原俊雄市長、佐藤正高長岡市川口支所長、田中誠長岡市錦鯉養殖組合理事長が出席して贈呈式が行われた。長



長岡市川口地域から贈られた友好の錦鯉

岡市は錦鯉発祥の地として知られており、同市の魚になっている。長岡市は棚田を利用した錦鯉の養殖が盛んで、ブランド強化の一環として小学校などへの寄贈事業が行われている。今回の寄贈もその

携を結び、交流を深めてきた。平成16年の同町を震源とする新潟県中越地震の際には、狛江市から多くの支援部隊がかけつけて、いち早く救助活動に当たったことで、さらにきずなを深めた。



外観

10人までの会議や教室などに利用できる。カフェはカウンターとテーブルがあり、ギャラリーの展示を楽しみながらコーヒーやケーキなどを味わえる。

3階ホールは約90㎡あり、壁面ミラー、グランドピアノ、音響・映像設備、ステージになる平台や演台、ホワイトボードやテーブル、イスなどを備える。収容人数は80人で、コンサート、講演会、発表会、パーティー、ダンスなどの教室として利用できる。

現在、教室などは約40団体、ギャラリーは約60団体が利用するほか、中学校美術作品展、特別支援学級連合展覧会も開かれている。

同館の活動を支える組織として「泉の森友の会」(飯田美郎会長)が開館時から活動しており、狛江にちなんだ文化講演会、チャリティイベント、会館まつりなどを毎年3回催している。

5日(日)と6日(月)に開催する20周年記念イベント「カルチャーの森」では、ギャラリーで同館を利用している15の教室による手芸、文芸、書道、絵画などの展示、ホールでピアノ、チェロ、朗読、ダンス、ヨガなど9部門の実演を行う。5日(日)午前10時30分から「20年前の泉の森会館界限」と題し、泉龍寺の前任職の菅原昭英さんが講演する。

元木館長らは「これまで多くの人に支えられ、20周年を迎えられました。これからも文化発信の場所として、活動していきたい」と話している。